



広報 **えびな**

編集・発行

海老名市役所 広報広聴課

〒243-0492

神奈川県海老名市勝瀬175番地の1

☎ (046) 231・2111

URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>

*この広報は再生紙を使用しています。

いつまでもはじはじ

9月15日は、高齢者の方を敬い、長寿を祝う敬老の日。市内に住む65歳以上の方は1万2256人(8月1日現在)で、総人口の10.4%になります。高齢者の中には、趣味を生きがいにして元気に活動している方々が、たくさんいらっしゃいます。今回は、その中で、文化、スポーツで頑張っている2組の方々を紹介いたします。

「2000年90歳の個展」を開いた濱田スキエさん

中新田に住む、濱田スキエさんは、明治42年10月生まれの90歳。絵を描くことが好きなスキエさんは、昭和54年に市主催の公民館講座で、絵画の指導を受



自宅で作品を描く濱田スキエさん

けてから本格的に描き始め、四季の草花・動物・干支などを題材に、今まで1000枚以上の作品を、主に色紙に描き続けています。2000年という節目の年に、90歳を迎えることから、子どもや孫たち7世帯約20人が、記念に何かをしてあげたい」と一致団結し、8月6日(日)市民ギャラリーで、「2000年90歳の個展」と題し絵画展を開催しました。



個展は多くの来場者で大盛況

「見に来てくれた何人かに、『絵を見て元気がよくなりました』『励みになりました』などと言われ、私の絵が少しでもみなさんの力に

度はいつ個展をするのですか」などの手紙や電話が絵を描く励みになって、今まで以上に絵に取り組みが増えたそうです。普段の生活は、朝6時に起き、夜は8時から9時ぐらいに寝るという規則正しい生活。「時計がなくとも、だいたい時間がわかれます。お腹がすいて知らせる腹時計でね」と。残っている歯は、入れ歯ではなくすべて自分の歯だそうです。

「今の自分があるのは、子どもや孫たち家族のおかげです。こんなに温かい人たちに囲まれて本当に幸せで、感謝の気持ちでいっぱいです」とも。「好きなことをしていると、長生きしますね。自分の植えた木が来年どうなっているのか、次はどんな絵を描いてみようかなどを、考えるのもとっても長生きしたいです」とスキエさん。これからも、丹念な筆使いから素晴らしい作品が生まれることでしょう。

全員が80歳以上の卓球サークル「いづみ会」

上今泉コミセンを利用し活動している、卓球サークル「いづみ会」。会員の4人全員が80歳以上という元気なサークルです。

会員は、市川富美子さん(80歳)、後藤富士枝さん(86歳)、中村ミチエさん(87歳)、山崎



写真左から、後藤さん、山崎さん、中村さん、市川さんの「いづみ会」

タマヨさん(82歳)の4人。練習は週2回。主に火曜日と土曜日の、午後1時から3時までの2時間行っています。「会を始めて約2年になりました。家に閉じこもっていたんじゃないかと、何か体を動かそうと思ってきました」と山崎さん。当初、後藤さんと2人で結成し、中村さん、市川さんと増え現在の4人。

最初のうちは、ボールがどこへいってかわからず、卓球台の横を木でガードしてボールが落ちないようにはしていましたが、現在では、木をはずしても打ち合えるまでに上達しました。「卓球の試合というよりは、何回打ち合えるかで楽しんでます。運動し終え

今年のはじめ、夏の期間に初めて練習を休みにしたそうですが、今月か来月には、また練習を再開する予定です。体の続く限りずっと続けていきたいです。卓球をやっていることで、自分が健康でいられる気がするんです」と、みなさん同じ答えが返ってきました。「スポーツの秋」になると、また4人の元気な活動が始まります。